

「第2期さいたま市スポーツ振興まちづくり計画改訂版(案)」に対する  
意見募集結果

意見 番号	ご意見の概要	該当 ページ	件数	ご意見に対する市の考え方	修正等の対応
1	<p>スポーツの範囲 スポーツの範囲の捉え方が狭く感じる。 スポーツ基本法に「世界共通の人類の文化」であり、「心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進、精神的な充足感の獲得、自律心その他の精神の涵養等のために、個人又は集団で行われる運動競技その他の身体活動」であると示されているが、本計画の整理では、主として身体活動(健康づくり)として捉える色合いが強く、文化としてのスポーツや精神的な充足感の獲得といった視点が不足しているように思う。 身体活動の推進に加えて、スポーツ基本法が示す「文化としてのスポーツ」という価値を明確に位置付けていただきたい。</p>	4	1	<p>本計画では、「序章5.本計画におけるスポーツ (2) スポーツの意義」において、スポーツを通じて心身の健康増進や青少年の健全育成、地域コミュニティの形成等に貢献するものとして捉えております。 また、「Ⅲ.基本方針、基本施策」において、スポーツが市民生活に根付き、スポーツに対する理解や関心を深め、日常の中にスポーツが溶け込むことで、本市独自のスポーツ文化の創出・醸成を図ることとしています。 いただいた御意見については、今後の行政運営の参考とさせていただきます。</p>	案のとおりいたします。
2	<p>■サッカーを核としたスポーツのまちづくりの推進 サッカーだけでなく「自転車」もスポーツまちづくりの核に置くべき。 さいたま市は地勢が平坦で自転車保有率が高く、荒川サイクリングロードもあることから、もともと自転車に馴染みが深い点を生かし、市民がスポーツサイクリングに親しむ環境を整え、スポーツサイクリングへの参加を高めることが必要。 県と協働しながらサイクルスポーツを推進し、ツールドフランスの機会に市民参加型のクリテリウムを開催するのよい。</p>	65	1	<p>埼玉サッカーの歴史は古く、明治41年、埼玉県師範学校に蹴球部が創設されたのが埼玉サッカーの発祥と言われています。こうした背景に加え、本市は、2つのJリーグクラブ及び2つのWEリーグクラブを擁することから、そのホームタウンとしての特性を生かし、サッカーを活用したまちづくりを推進するための各種事業を展開して、「サッカーのまち さいたま」の認知度向上を図るなど、サッカーを核として、様々なスポーツ施策を推進し、「スポーツのまち さいたま」の発信に取り組むこととしています。 サイクリングは、ランニング・ウォーキングと同様に、個人でも気軽に楽しめるスポーツであることから、本計画では、プロスポーツチーム等と連携して自転車も含め身近なスポーツの体験機会を提供する「プロスポーツチーム等との連携」事業、自転車関係団体やプロロードレースチームと連携して幅広い世代に向けた「自転車安全利用の推進」事業、市民の余暇に寄与するレクリエーションルートの整備やサイクリングマップの作成等の「自転車利用環境の向上」事業などを進めることとしています。 また、ツール・ド・フランスの名を冠した国際自転車競技大会において、一般体験走行や選手とのふれあいを通して市民のサイクルスポーツへの関心を高めるよう取り組んでいます。 いただいた御意見については、事業を推進する際の参考とさせていただきます。</p>	案のとおりいたします。

意見 番号	ご意見の概要	該当 ページ	件数	ご意見に対する市の考え方	修正等の対応
3	<p>■自転車利用環境の向上</p> <p>大宮公園の県営双輪場は、埼玉県が第二公園で複合スポーツ施設への建て替えを決めているが、さいたま市内の大型スポーツ施設として市民にとって非常に重要な施設である。</p> <p>自転車利用環境の向上策として、市民にとって利用しやすいよう、屋内競技（卓球やバドミントン、バレーボールなど）も可能な全天候型自転車競技場を設置するよう埼玉県に働きかけてほしい。</p>	66	1	<p>埼玉県が策定した「大宮スーパー・ボールパーク基本計画」において、陸上競技場兼双輪場に関しては、多目的競技場として「双輪場の機能に、新たな機能も加え、多目的な利用が可能な施設とする。」とされており、今後、埼玉県において検討が進められるものと認識しておりますが、いただいた御意見については、埼玉県へ情報提供します。</p> <p>なお、本計画では、「Ⅱ. スポーツを取り巻く現状と課題 4. 本市の関連施策等」において、スポーツとまちづくりの広範な分野において連携を図ることとしており、「自転車のまちづくり」を推進するために策定しているさいたま自転車まちづくりプランとも密に連携を図りながら推進してまいります。</p> <p>いただいた御意見については、今後の行政運営の参考とさせていただきます。</p>	案のとおりいたします。
4	<p>■自転車利用環境の向上</p> <p>市内は交通量が多く、自転車が安全に走行できる環境が十分とはいえないため、自転車利用環境の向上策として、市内の自転車レーンの整備を推進してほしい。</p>	66	1	<p>本計画では、「Ⅱ. スポーツを取り巻く現状と課題 4. 本市の関連施策等」において、スポーツとまちづくりの広範な分野において連携を図ることとしており、「自転車のまちづくり」を推進するために策定しているさいたま自転車まちづくりプランとも密に連携を図りながら推進してまいります。</p> <p>いただいた御意見については、今後の行政運営の参考とさせていただきます。</p>	案のとおりいたします。
5	<p>■自転車利用環境の向上</p> <p>荒川サイクリングロードは市民にとって身近であり、かつ気軽に利用できる素晴らしい環境であるため、自転車利用環境の向上策として、途切れている部分をつなげたり、舗装を直したり、自転車競技の練習ができる周回コースを作ったりするなど、県や関係他自治体と連携して荒川サイクリングロードの環境整備を進めてほしい（市内だけ改善しても効果が薄いので熊谷以北から東京湾までを整備してほしい）。</p>	66	1	<p>本計画では、「Ⅱ. スポーツを取り巻く現状と課題 4. 本市の関連施策等」において、スポーツとまちづくりの広範な分野において連携を図ることとしており、「自転車のまちづくり」を推進するために策定しているさいたま自転車まちづくりプランとも密に連携を図りながら推進してまいります。</p> <p>いただいた御意見については、今後の行政運営の参考とさせていただきます。</p>	案のとおりいたします。
6	<p>■自転車利用環境の向上</p> <p>大宮駅前駐輪場が不足しており、定期利用の空きがない状況が続いている。商業施設の一時駐輪場もいつも満杯で駐輪しにくく、自転車で出かけても駐輪できずに困ることが多い。</p> <p>自転車利用環境の向上策として、駅前ロータリー地下や高架下を活用し、利便性の高い駅前駐輪場の増設を検討してほしい。</p>	66	1	<p>本計画では、「Ⅱ. スポーツを取り巻く現状と課題 4. 本市の関連施策等」において、スポーツとまちづくりの広範な分野において連携を図ることとしており、「自転車のまちづくり」を推進するために策定しているさいたま自転車まちづくりプランとも密に連携を図りながら推進してまいります。</p> <p>いただいた御意見については、今後の行政運営の参考とさせていただきます。</p>	案のとおりいたします。

意見 番号	ご意見の概要	該当 ページ	件数	ご意見に対する市の考え方	修正等の対応
7	<p>サイクルイベントの開催にあたり、サイクリングロードの活用は安全対策や警備、人員配置など大規模な手間と予算がかかるが、専用競技場を活用すれば費用が少なく済むので、大宮競輪場を使ったサイクルイベントの開催や支援をしてはどうか。</p> <p>また、専門競技団体（埼玉県自転車競技連盟）等と連携すれば準備の手間も少なく、補助を出すだけでも済む。特に、中学生の自転車競技人口は全国的に見ても非常に少ないため、中学生向けの地方・全国レベルの大会を開催してはどうか。</p> <p>全国有数の「自転車競技・サイクリングのまち」としてツールドフランスとの相乗効果が期待でき、市民のスポーツ振興に大きく資する。</p>	72	1	<p>サイクルイベントの開催事業については、サイクリングロードを活用し、誰もが気軽に楽しめるサイクリングを促進するために実施していくこととしています。</p> <p>また、本計画では、「VI. 計画の推進にあたって」において、各競技団体、教育機関、研究機関、医療機関、スポーツを支援する企業や団体など、市内外の様々な団体、組織と連携を図りながら、効果的・効率的に施策を推進していくこととしています。</p> <p>いただいた御意見については、事業を推進する際の参考とさせていただきます。</p>	案のとおりいたします。
8	<p>特別支援学級だけでなく普通級にも障害のある学生が在籍しており、共存できる社会を育むことも大切である。</p> <p>「開催にあたっては、教育委員会と連携し、小中学校の特別支援学級だけでなく、普通級での訪問型パラスポーツ教室を開催し、健全者と障がいを持った人の共存した社会のスポーツ教育機会を取り込み、幅広い人に参加できるように行うなど内容の充実を図ります。」と修正したほうが良い。</p>	73	1	<p>障害の有無及びその程度にかかわらずスポーツに親しむことや、スポーツを通じた相互理解を深め、ノーマライゼーション社会の推進を図ることが重要であると考えております。</p> <p>「障害者スポーツ教室の開催」事業については、障害者（児）の健康の増進等を目的としているため、学校訪問型の教室開催においても、障害のある児童・生徒の参加に配慮して実施しておりますが、特別支援学級に限定しているものではありません。今後も幅広い児童・生徒が参加、交流できるよう、市立小中学校に対し呼びかけてまいります。</p> <p>いただいた御意見については、事業を推進する際の参考とさせていただきます。</p>	案のとおりいたします。
9	<p>新規・拡充の事業について、スポーツファーマシスト（薬剤師）との連携による取組の具体策を提案する。</p> <p>①「スポーツ活動をささえる体制の強化」事業における大会医薬品リスクマネジメント体制の強化</p> <p>②「eスポーツの普及啓発」事業におけるeスポーツ×健康教育</p> <p>③「スポーツボランティアの充実」事業における医療系ボランティア枠の新設</p> <p>④「データを活用した介護予防の推進」事業における高齢者向けスポーツ×多剤服用対策</p> <p>⑤デジタル技術を活用したオンライン医薬品相談窓口や大会前Web相談</p>	65～75	1	<p>本計画では、「VI. 計画の推進にあたって」において、各競技団体、教育機関、研究機関、医療機関、スポーツを支援する企業や団体など、市内外の様々な団体、組織と連携を図りながら、効果的・効率的に施策を推進していくこととしています。</p> <p>いただいた御意見については、事業を推進する際の参考とさせていただきます。</p>	案のとおりいたします。

意見 番号	ご意見の概要	該当 ページ	件数	ご意見に対する市の考え方	修正等の対応
10	<p>体育館を利用してスポーツをする社会人にとって、平日夜間や土日の市営体育館の確保が困難である。</p> <p>また、記念総合体育館をサイデンに売却した後の同体育館は、同社がサポートしているフットサル利用者やその他のイベントが優先されて、一般市民の抽選枠が相当減っている。</p> <p>ギャラリーや温水シャワーはなくても良いので、面数を増やし、スポーツできる機会を作してほしい。</p>	—	1	<p>本計画では、「IV. 各施策・事業」において、「体育館等の整備・改修」事業として、市民が日常的にスポーツ活動に親しめる場所や機会を確保するために、安心・安全な管理運営を行うとともに、より効果的・効率的で利用しやすい体育館等の整備・改修を進めることとしています。</p> <p>また、「さいたま市スポーツ施設の整備方針」に則り、公共施設マネジメント計画を考慮し、将来の財政負担を増やさない工夫の下、市民ニーズを的確に捉えながら、今後のスポーツ施設整備を計画的に検討してまいります。</p> <p>いただいた御意見については、事業を推進する際の参考とさせていただきます。</p> <p>なお、御指摘の記念総合体育館については、ネーミングライツに関する契約に基づき、通称名を「サイデン化学アリーナさいたま」としているものであり、施設を売却した事実はありません。</p>	案のとおりいたします。
11	<p>市民の心身の健康維持及び幼児から高齢者へのスポーツ振興のため、市内レジャープールのあり方方針を変えるべき。</p> <p>市民の存続を求める声を無視して、沼影市民プール解体は許されることではなく、即時、壊した場所で再建すべきである。</p>	—	1	<p>本市では、市民等の心身の健全な発達、明るく豊かな市民生活の形成等に寄与することを目的として、スポーツ振興まちづくりを進めています。</p> <p>御指摘の幼児から高齢者へのスポーツ振興については、本計画の「IV. 各施策・事業」において、①子どもたちのスポーツ振興や、③健康増進につながるスポーツの振興に資する各事業を位置づけております。</p> <p>なお、御指摘の「さいたま市レジャープールのあり方方針（R5.11）」については、パブリック・コメントの対象となる本計画には含まれておりませんが、スライダールーラーや流れるプール、その他の水遊びができる施設を有するレジャープールを対象としており、現時点で見直しは予定しておりません。また、南部エリアのレジャープール候補地については現在検討中ですが、沼影公園跡地における再建は予定しておりません。</p>	案のとおりいたします。
12	<p>さいたま市では、サッカーを核とした施策が多く展開され、「スポーツのまち さいたま」の発信が進んでいると感じる一方で、社会人が気軽にスポーツを始められる機会は十分とは言えない。</p> <p>初心者が参加しやすい講座やスクールが不足しており、働く世代にとってはハードルが高いため、以下のような取組を検討いただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サッカーを含む多様なスポーツの「初心者向け社会人講座」</li> <li>・平日夜間・土日の時間帯での開催</li> <li>・市内スポーツ団体やプロクラブと連携したビギナープログラム</li> <li>・女性や未経験者が安心して参加できるライトスポーツ体験会</li> </ul>	—	1	<p>成人の週1回以上スポーツ実施率は、他の年代に比べて30代・40代の実施率が低い傾向にあり、御指摘のように社会人が気軽にスポーツを楽しめる機会の提供が重要であると考えています。</p> <p>本計画では、「IV. 各施策・事業」において、子どもから大人まで一緒に気軽に楽しめるアーバンスポーツの活性化や、プロスポーツチーム等と連携した身近なスポーツの体験機会の提供等の事業によりさいたまスポーツ文化の創出・醸成を図っていくこととしています。</p> <p>また、競技団体等が主催する社会人も対象とした教室について、市報等への掲載など広報に協力しております。</p> <p>いただいた御意見については、事業を推進する際の参考とさせていただきます。</p>	案のとおりいたします。

意見 番号	ご意見の概要	該当 ページ	件数	ご意見に対する市の考え方	修正等の対応
13	<p>公共施設を利用したくても施設予約が常に混雑していて利用できない状況がある。施設予約の混雑緩和や利用枠の拡大、予約システムの改善などの環境整備を進めてほしい。</p>	—	1	<p>本計画では、「IV. 各施策・事業」において、「体育館等の整備・改修」事業として、市民が日常的にスポーツ活動に親しめる場所や機会を確保するために、安心・安全な管理運営を行うとともに、より効果的・効率的で利用しやすい体育館等の整備・改修を進めることとしています。</p> <p>また、「VI. 計画の推進にあたって 2. 事業推進のための手法」において、施設予約や管理システムの導入を通じた管理運営の効率化など、デジタル技術を活用することで効果的・効率的な事業展開を進めることとしています。</p> <p>いただいた御意見については、事業を推進する際の参考とさせていただきます。</p>	<p>案のとおりいたします。</p>
14	<p>小学校低学年からスポーツに親しむことは、生涯スポーツの習慣を決定づける上で非常に重要であるが、市内には共働き世代も多く、子どもをスポーツをクラブに送迎したり、スポーツ少年団に参加させるにはハードルが高い。</p> <p>小学校低学年がスポーツに親しむ機会を増やすには、学童保育の充実が必須である。民間・公営含め「スポーツ学童」の増設や、既存の学童保育とスポーツクラブとの連携を深め、保育中にスポーツを習ったり体験できたりする機会を増やしてほしい。</p>	—	1	<p>幼少期・児童期にスポーツに親しむことで、スポーツ習慣が付き、生涯スポーツの振興にも寄与するものと考えております。</p> <p>本計画では、市民等がいつでも、どこでも、いつまでも、スポーツにかかわることができるよう、持続可能なスポーツ環境の充実に向けた取組や、子どもたちを対象としたスポーツ教室やスポーツイベントによる子どもたちのスポーツ振興に寄与する取組のほか、親子で一緒にスポーツを楽しむ機会の提供にも取り組むこととしています。</p> <p>また、さいたま市版SOIP（スポーツオープンイノベーションプラットフォーム）事業の展開において、採択した事業者提案の一つにスポーツ学童に関するプランがあることから、事業化に向けた支援を引き続き進めていくところです。</p> <p>いただいた御意見については、今後の行政運営の参考とさせていただきます。</p>	<p>案のとおりいたします。</p>
15	<p>現役世代が余暇時間を確保しにくい現状がある中で、歩行や自転車移動、ラジオ体操等をスポーツに含めて身体活動を推進することは、意義はあるものの、本質的な課題（「やりたいが仲間や時間がなくてできない」状態）を解決していないと感じる。</p> <p>市民が“やりたいスポーツ”に参加できるよう、仲間づくりや時間・場所の確保を後押しすることこそ、市の役割として重要ではないか。</p> <p>具体策として、以下を提案する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が気軽に遊べ、ボール等も使いやすい公園の整備・増設</li> <li>・夜間でも利用できるスポーツ施設・運動空間の整備</li> <li>・学校施設のさらなる開放（利用枠の拡大、利用しやすい仕組みづくり）</li> <li>・親子で参加できるスポーツイベントの企画（参加の人口づくり）</li> </ul> <p>市民が“するスポーツ”に参加し続けられる環境整備を重点化していただきたい。</p>	—	1	<p>本計画では、「IV. 各施策・事業」において、スポーツの基盤をより強固にする施策として、「さいたまスポーツ文化の創出・醸成」及び「スポーツをするための空間・設備の整備、向上」を位置付けており、スポーツもできる多目的広場の整備や夜間照明設備のLED化、学校体育施設開放の推進といったハード事業や、プロスポーツチーム等との連携による身近なスポーツの体験機会の提供等のソフト事業に取り組むこととしています。</p> <p>いただいた御意見については、事業を推進する際の参考とさせていただきます。</p>	<p>案のとおりいたします。</p>
16	<p>この計画そのものには緊急性がないと思うが、介護予防など、解決・改善を急ぐべき課題に関係するところもあるので、大変有意義だと思う。</p>	—	1	<p>本市では、すべての市民等が障害の有無及び身体能力・運動能力の違いにかかわらず、いつでも、どこでも、いつまでも、スポーツにかかわることができる機会を増やし、市の教育、文化、環境、経済・観光、健康・福祉、都市計画の広範な分野において、市民等、スポーツ関連団体、事業者及び行政が連携を強化することにより、生涯スポーツの振興及びスポーツを活用した総合的なまちづくりを推進してまいります。</p>	<p>案のとおりいたします。</p>

意見番号	ご意見の概要	該当ページ	件数	ご意見に対する市の考え方	修正等の対応
17	<p>充実した内容であり、修正が必要な部分はない。</p> <p>①「さいたまスポーツシュール」などの推進により、企業・教育機関・各種団体の連携や産業の創出、市民の活動の活発化につながると思う。</p> <p>②スポーツは、健康・体力を保持増進するとともに、実践する中でフェアプレイ精神（公正さと規律を尊ぶ態度）が醸成されると思う。</p>	—	1	<p>本市では、「さいたまスポーツシュール」などの推進により、民間力や地域のスポーツ資源、最新のデジタル技術や学術的知見を活用したスポーツ人材の育成や持続可能なスポーツ環境の整備、スポーツビジネス・産業の創出や活性化を推進してまいります。</p> <p>また、心身の健康増進や青少年の健全育成等、スポーツの持つ多面的な価値を認識し、引き続き生涯スポーツの振興とスポーツを活用した総合的なまちづくりを推進してまいります。</p>	案のとおりいたします。
18	<p>地球温暖化の影響で、猛暑や急な豪雨などの異常気象が年々増加している。スポーツ活動中の事故やケガを防ぐためにも、気候変動への対応について記載すべきではないか。</p>	—	1	<p>御意見をふまえ、案を修正します。</p> <p>P. 87 事業推進のための手法（追記）</p> <p>また、猛暑による熱中症の増加、豪雨等による競技への影響といった気候変動への対応や、少子高齢化の進行によるスポーツの参加者や指導者等の担い手不足など、スポーツ活動にまつわる様々な環境の変化に柔軟に対応していく視点をもって事業を推進していきます。</p>	案を修正いたします。

## ■ 集計結果

意見提出者数	10名
意見項目数	18件
修正項目数	1件